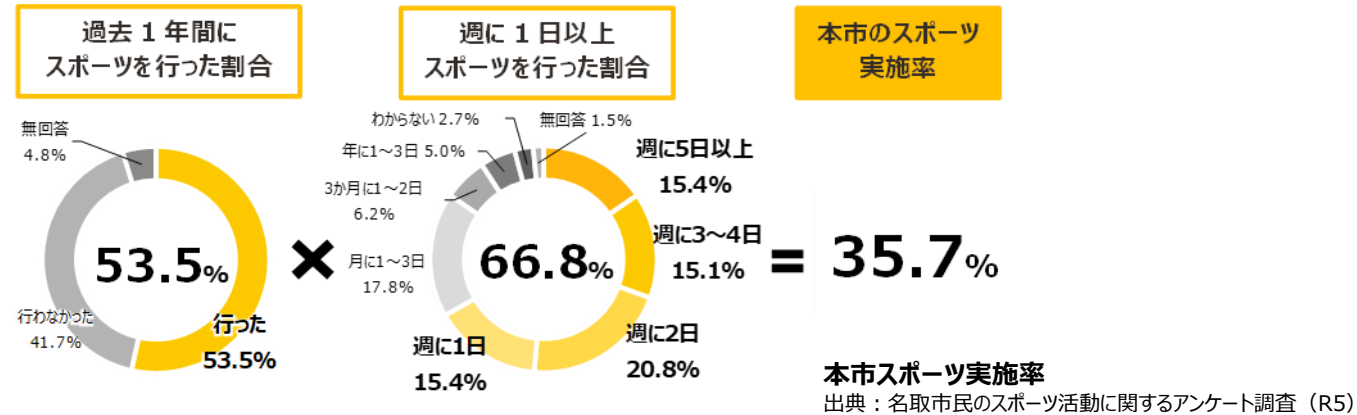


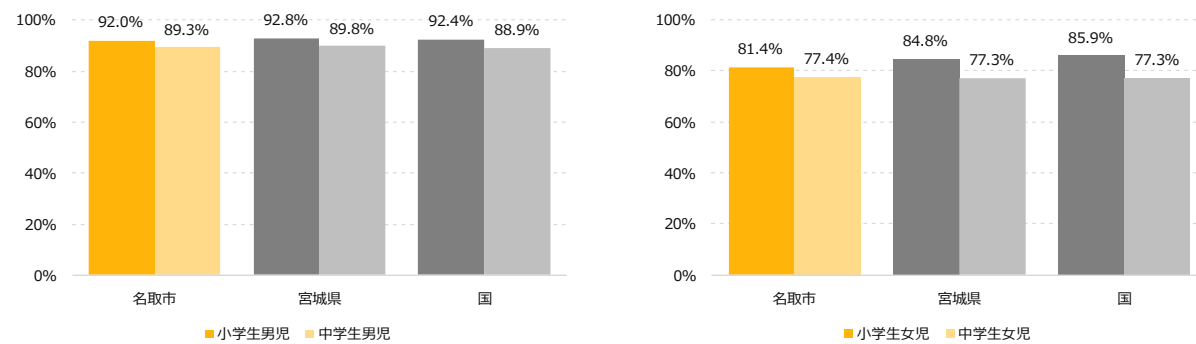
主な現況

本市のスポーツ実施率は、過去１年間にスポーツを行った53.5％に、週に１日以上運動する割合の66.8％を乗じ、35.7％となります。



「スポーツをすることが好きな児童生徒」の割合をみると、小学生男児・女児ともに国や県の水準よりも低い状況です。

進学に伴う影響は国や県と同様の傾向となっており、中学生になると減少し、特に女児でその傾向が顕著です。



運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合国県比較
出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（R4）

成果指標・目標値

本計画の達成度を測る成果指標に、次の目標値を設定しました。

成果指標	現状値	目標値(R12)
市民のスポーツ実施率	35.7% (R5)	50%
スポーツをすることが好きな子どもの割合	児童86.7% 生徒83.4% (ともにR4)	児童 90% 生徒 85%
障がい者スポーツに関わる市民の割合	7.7% (R5)	増加
体育施設の利用者数	422,909人 (R4)	455,000人
スポーツ環境の充実に関する市民の満足度	15.3% (H29)	22%

概要版

2024 ▶ 2030

名取市 スポーツ 推進計画

-スポーツでつながるなとり-

名取市教育委員会



右記の二次元コードから
本編がご覧いただけます。



計画の趣旨

本市のスポーツを取り巻く現状と課題を整理し、スポーツの多様化したニーズに対応しながら、スポーツ分野における総合的な計画として策定するものです。

計画におけるスポーツの範囲

本計画では、野球やサッカーなどの競技種目、ジョギングや体操などの軽い運動、さらにレクリエーション活動や日常生活において自発的に行う身体活動などをすべて「スポーツ」として幅広く捉え、「身近・気軽」に親しんでいただくことを目指します。



Point

「スポーツ」という言葉が示す範囲は本来とても広いもので、決して競技種目に限るものではありません。

例えば、日常生活における散歩や、自転車や徒歩で移動すること、エレベーターを使わずに階段で昇り降りすることも「スポーツ」といえます。また、子どもが遊びで行うかくれんぼや鬼ごっこ、仕事や勉強の疲れを癒すためのレクリエーション活動など、楽しみや気晴らしのために行う身体活動も「スポーツ」に含まれます。



市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツをさまざまな形で楽しみ、心身ともに生き活きと自分らしく暮らすとともに、一緒にスポーツを楽しむ仲間や、イベントを支える団体、ボランティアなどと“つながる”ことで地域との絆を育み、新たな地域の魅力や展開へと広がっていく姿を目指します。

基本目標

基本目標 1 スポーツで誰もが **健康に** つながる



スポーツによる身体活動を通じ、性別や世代、地域、障がいの有無に関わらず、市民の誰もが健康な心身を手に入れ、日々の生活が充実した状態を実現します。

1-1 | 子どものスポーツ機会の充実

スポーツをすることが好きな子どもを増やします

主な取組 スポーツの体験会や教室の開催／学校体育との連携／子ども向けの情報発信の充実／各種スポーツ団体の紹介 など



1-2 | 働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実

ライフスタイルに合った運動の普及や場づくりを推進します

主な取組 親子で参加できるイベントの開催／気軽に取り組める運動の紹介／親子でできる運動遊びの普及／「すき間時間」にできる運動の紹介など



1-3 | 高齢者のスポーツ機会の充実

運動による健康増進や生きがいづくりを促進します

主な取組 ニュースポーツ用具の貸し出し／地域で運動する場づくり／スポーツ施設までの移動手段の検討／指導者の派遣 など



1-4 | 障がい者スポーツの環境整備と普及促進

障がい者スポーツを通じた共生社会の実現を目指します

主な取組 障がい者スポーツ体験会の開催／指導者やサポーターの育成／スポーツ施設までの移動手段の検討／施設のバリアフリー化の促進など



1-5 | 均衡のとれたスポーツ環境の充実

市民のニーズに即したスポーツ環境を整備します

主な取組 施設の計画的な改修や備品等の充実／公園等を活用したスポーツの場づくり／施設予約システムの導入検討／ウォーキングやランニングコースの紹介など

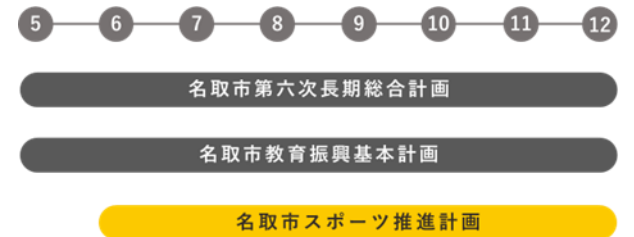


計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法に基づき、国のスポーツ基本計画を参酌し、本市の最上位計画である名取市第六次長期総合計画および名取市教育振興基本計画との整合を図り、スポーツ行政のビジョンと方向性を示すものです。また、本市の各分野における関連計画との連携を図ります。

計画の期間

計画期間は名取市第六次長期総合計画と名取市教育振興基本計画の終了年次と合わせ、令和6年度から令和12年度までの7年間とします。



基本目標 2 スポーツで **ひととまち** がつながる



市民（ひと）がスポーツを介し地域（まち）とつながり、ひいては市内の地域と地域がつながり、多様な主体が交流することで、さらに、市外の地域ともつながる。それにより地域の活性化を図ります。

2-1 | 多様な主体と連携したスポーツコミュニティの形成

各種団体との連携により地域スポーツの活性化につなげます

主な取組 スポーツに関する情報交換会の開催／企業等との連携事業の開催／各団体の取り組み紹介／各種団体が持つ資源の活用 など



2-2 | 地域スポーツの振興

スポーツを通じた人と人との交流を促進します

主な取組 市民総合スポーツ祭などの開催／誰でも気軽に参加できるイベントの検討／各地域でのスポーツ大会等の支援／イベント等の周知方法の工夫 など



2-3 | スポーツ資源を活用した賑わいの創出

魅力ある資源を活用し交流人口の拡大を促進します

主な取組 施設を活用した大会の誘致／施設に関する魅力発信／施設の有効活用の検討／交通アクセス手段の充実 など



2-4 | 競技スポーツ団体の支援と人材の発掘

スポーツに関わる競技者と指導者の育成支援に取り組みます

主な取組 スポーツ振興報奨金の交付／スポーツ賞顕彰の実施／各種講習会等の開催／スポーツ活動団体の紹介 など



2-5 | 「本物」のスポーツに触れる機会の創出

トップアスリートに触れることができる機会をつくります

主な取組 プロチームによる体験会や教室の開催／トップアスリートから話を聞く機会の提供／プロスポーツ観戦機会の充実／プロスポーツ試合の誘致 など

